2026年度　上期決算説明会

東京証券取引所プライム（証券コード：7294）

代表取締役社長　平中　勉

目次

Ⅰ. 上期業績サマリー
Ⅱ. 上期業績
Ⅲ. 通期業績予想
Ⅳ. 株主還元
Ⅴ. トピックス

Copyright © YOROZU Corporation

Ⅰ．上期業績サマリー

Copyright © YOROZU Corporation

上期業績サマリー

2026年度上期実績

・**増収増益**。生産台数減となったものの、為替換算影響などにより増収
　合理化活動「Success 26V」の推進などにより、**営業利益は前期比29.8%の増益**
・適切な計画に基づく資金調達で財務状況は健全な状態を維持

2026年度見通し

・**売上高 1,660億円　営業利益 33億円**（売上高比 2.0%）

株主還元

・2026年度**中間配当は16円**（決定）、**年間33円**（予定）
・2025年度配当実績**年間33円**

Copyright © YOROZU Corporation

Ⅱ. 上期業績

Copyright © YOROZU Corporation

【上期】2026年度上期連結決算概要（前年同期比）

単位：百万円

	2025年度 上期 A	2026年度 上期 B	増減額 B-A	前年同期比
売上高	83,763	89,941	+6,178	+7.4%
営業利益	1,009	1,310	+301	+29.8%
経常利益	842	1,081	+239	+28.4%
当期純利益 ※1	152	131	△21	△13.8%

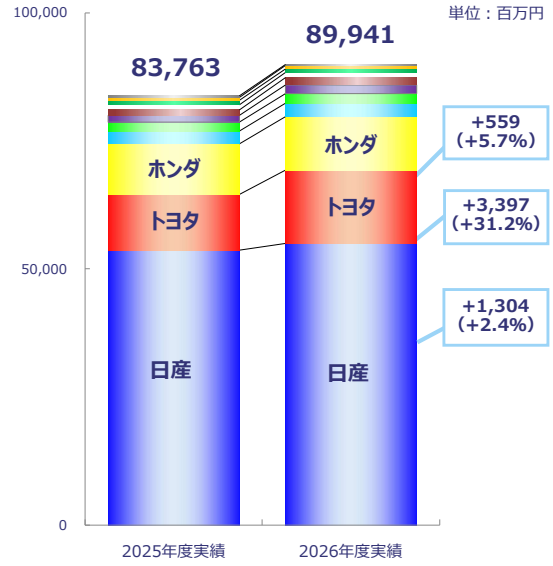
※1 親会社株主に帰属する当期純利益

	2025年度 上期 A	2026年度 上期 B	増減額 B-A	増減率
一株当たり当期純利益	6円27銭	6円36銭	+0円9銭	+1.4%
連結取り込みレート	148円48銭 / $	158円29銭 / $	+9円81銭 / $	+6.6%

- ◆ 売上高　グループ全体では生産台数減の一方、為替換算影響などにより増収
- ◆ 営業利益　合理化活動の推進などにより増益
- ◆ 経常利益　営業利益の増加により増益
- ◆ 当期純利益　中国子会社での人員最適化に伴う特別損失などにより減益

Copyright © YOROZU Corporation

【上期】連結得意先別売上高（25年上期実績 対 26年上期実績）



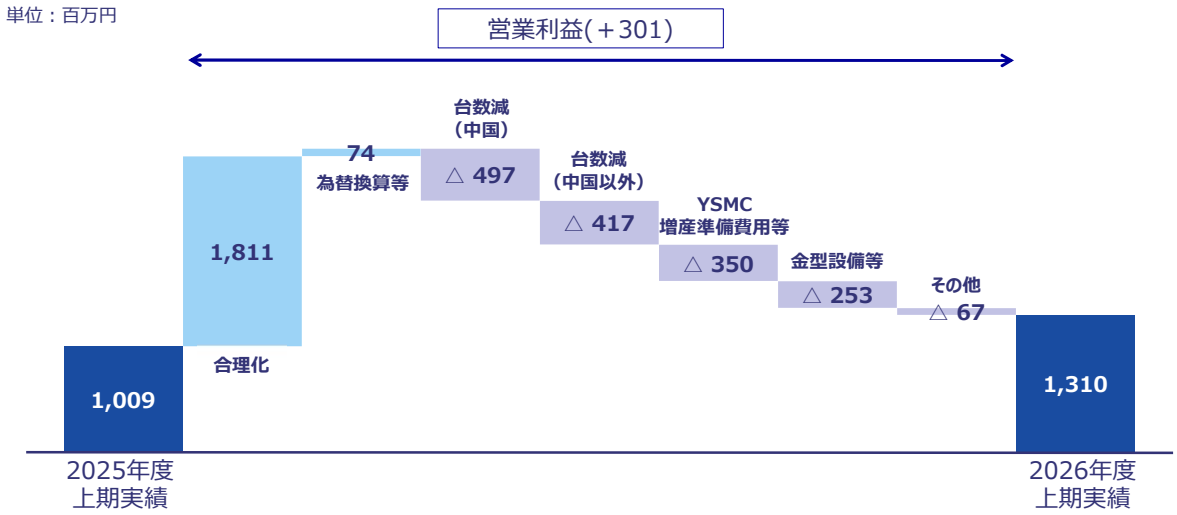
得意先		2025年度 上期	(%)	2026年度 上期	(%)
日産 Gr※		53,673	64.1%	54,977	61.1%
トヨタ Gr		10,901	13.0%	14,298	15.9%
ホンダ		9,867	11.8%	10,426	11.6%
いすゞ		2,472	3.0%	2,669	3.0%
マツダ		1,737	2.1%	1,856	2.1%
VW		1,345	1.6%	1,717	1.9%
SUBARU		1,026	1.2%	1,433	1.6%
クボタ		1,052	1.3%	989	1.1%
Mercedes Benz		836	1.0%	701	0.8%
スズキ		558	0.7%	681	0.8%
その他		296	0.2%	194	0.1%
合計		83,763	100.0%	89,941	100.0%

※ ルノー・三菱向け売上含む

トヨタ向け割合は15.9%まで上昇

Copyright © YOROZU Corporation

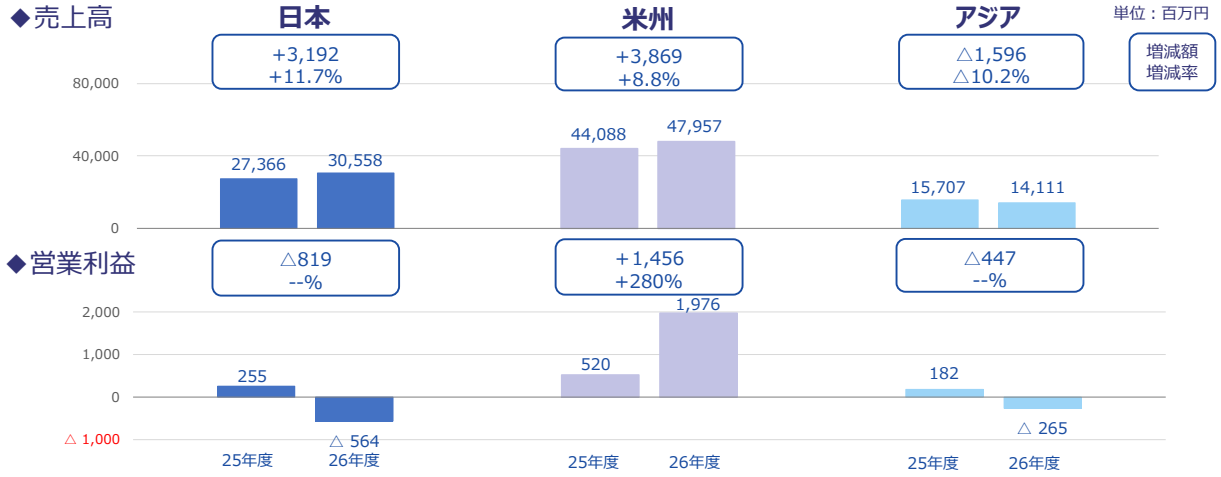
【上期】連結営業利益の増減要因分析（25年上期実績 対 26年上期実績）



中国・タイ・メキシコなどグループ全体での減産影響あったものの
「Success 26V」合理化改善活動の推進により増益

Copyright © YOROZU Corporation

【上期】地域別売上高・営業利益 連結調整前（25年上期実績 対 26年上期実績）



◆ 日本　台数増影響および合理化改善あったもののYSMCにおける増産準備費用等の発生により増収・減益
◆ 米州　メキシコ・ブラジルでの減産影響あったものの米国での台数増影響および合理化改善により増収・増益
◆ アジア　合理化改善による増益効果あったものの中国・タイでの減産影響により減収・減益

Copyright © YOROZU Corporation

財務状況　2026年9月末

(単位：百万円)	2026年3月末 A		2026年9月末 B		前期比(B-A)	
自己資本	54,154		55,762		1,608	3.0%
自己資本比率	39.2%		40.6%		--	--
有利子負債 DEレシオ	0.80	43,348	0.71	39,387	△3,961	△9.1%
NET有利子負債 NET DEレシオ	0.25	13,581	0.17	9,683	△3,898	△28.7%
総資産	138,258		137,201		△1,057	△0.8%

(単位：百万円)	2025年9月期 累計 A	2026年9月期 累計 B	前期比(B-A)	
営業キャッシュフロー	1,497	6,440	4,943	330.2%
投資キャッシュフロー	242	△2,748	△2,990	--
財務キャッシュフロー	△5,923	△4,432	1,491	--

適切な資金調達計画でDEレシオは健全な状態を維持

Copyright © YOROZU Corporation

（ご参考）連結貸借対照表の概要 2026年9月末

単位：百万円

	2026年3月末 A	2026年9月末 B	増減 B-A
流動資産	81,649	79,736	△1,913
固定資産	56,608	57,464	856
資産合計	138,258	137,201	△1,057
流動負債	42,029	38,963	△3,066
固定負債	32,175	31,988	△187
負債合計	74,205	70,952	△3,253
株主資本	41,648	41,603	△45
その他の包括利益累計額	12,506	14,159	1,653
非支配株主持分他	9,898	10,485	587
純資産合計	64,053	66,249	2,196
負債･純資産合計	138,258	137,201	△1,057

現預金	△63
受取手形及び売掛金	△1,677
棚卸資産	△723
その他の流動資産	550
有形固定資産	64
投資その他の資産	792
支払手形及び買掛金	△1,593
電子記録債務	△302
短期借入金	△3,239
1年内返済予定の長期借入金	△181
その他	2,247
長期借入金	△432
その他	244
当期純利益	131
配当支払	△370
その他有価証券評価差額金	603
為替換算調整勘定	1,137

Copyright © YOROZU Corporation

Ⅲ. 通期業績予想

Copyright © YOROZU Corporation

【通期】2026年度連結業績予想の概要

単位：百万円	2025年度 実績 A	売上高 比率	2026年度 予想 B	売上高 比率	増減額 B-A	増減率
売上高	176,330	100.0%	166,000	100.0%	△10,330	△5.9%
営業利益	3,980	2.3%	3,300	2.0%	△680	△17.1%
経常利益	3,776	2.1%	2,100	1.3%	△1,676	△44.4%
当期純利益 ※1	2,075	1.2%	1,100	0.7%	△975	△47.0%

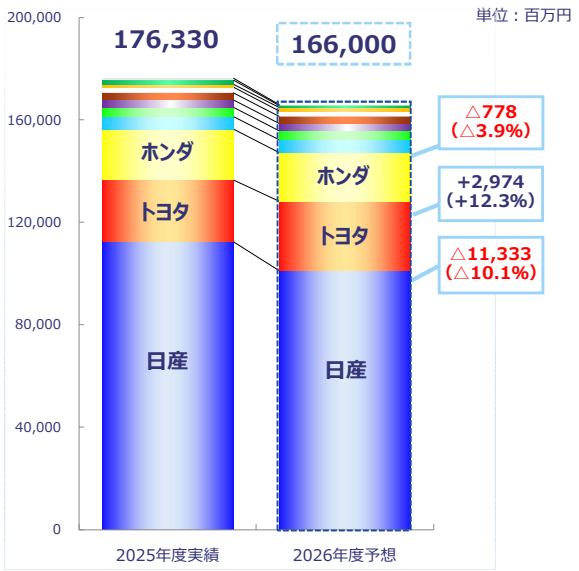
※1　親会社株主に帰属する当期純利益

	2025年度実績 A	2026年度予想 B	増減額 B-A	増減率
一株当たり当期純利益	90円79銭	53円0銭	△37円79銭	△41.6%
連結取り込みレート	149円65銭 / $	150円00銭 / $	+0円35銭/ $	+0.2%

■前期に引き続きSuccess26V合理化改善活動を全社をあげて取り組む
■新車需要の伸びが期待できない環境下にあっても営業利益率2.0%以上を目指す

Copyright © YOROZU Corporation

【通期】連結得意先別売上高（25年実績 対 26年予想）



得意先	2025年度	(%)	2026年度	(%)
日産 Gr ※	112,444	63.8%	101,111	60.9%
トヨタ Gr	24,177	13.7%	27,151	16.4%
ホンダ	19,783	11.2%	19,005	11.4%
いすゞ	4,986	2.8%	4,920	3.0%
マツダ	3,545	2.0%	3,523	2.1%
VW	2,896	1.6%	2,909	1.8%
SUBARU	2,750	1.6%	2,654	1.6%
クボタ	2,193	1.2%	2,190	1.3%
スズキ	1,244	0.7%	1,331	0.8%
Mercedes Benz	1,517	0.9%	780	0.5%
その他	795	0.5%	426	0.2%
合計	176,330	100.0%	166,000	100.0%

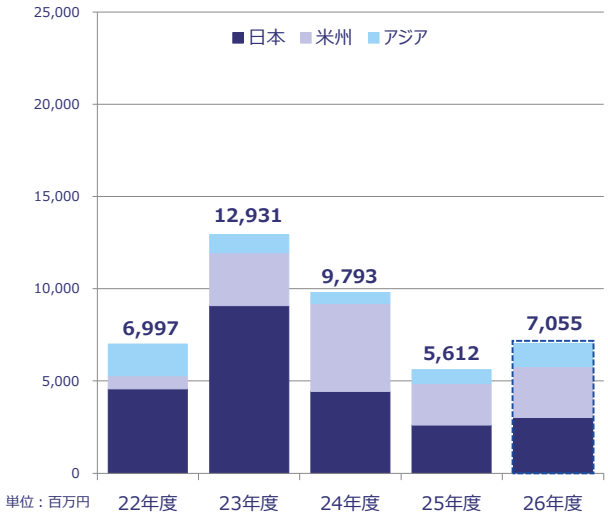
※ ルノー・三菱向け売上含む

トヨタ向けがさらに伸長

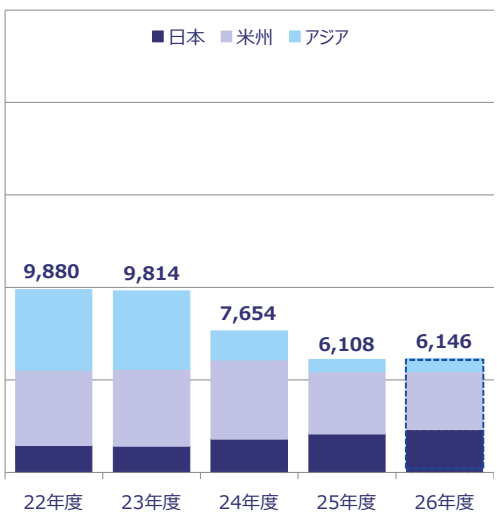
Copyright © YOROZU Corporation

設備投資と減価償却費

地域別設備投資



地域別減価償却費



Copyright © YOROZU Corporation

YSP2026振り返り

【総括】

変化に強い健全経営を目指すも地域別の販売動向やコスト環境などの変化を受け、売上高、営業利益率とROEはいずれも当初目標未達の見通し

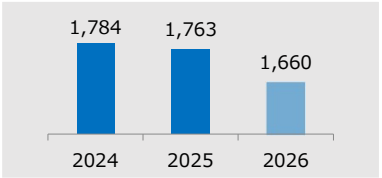
・米州での大きな改善はあるもののアジアでの売上減少により営業利益率当初目標は未達の見通し

・営業利益率低下によりROEも目標未達

売上高

FY26目標
2,100億円
修正目標 1,660億円

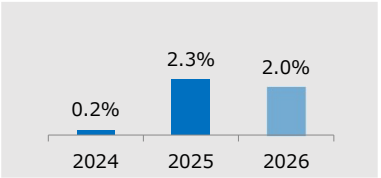
FY26実見
1,660 億円



営業利益率

FY26目標
4.5%
修正目標 2.0%

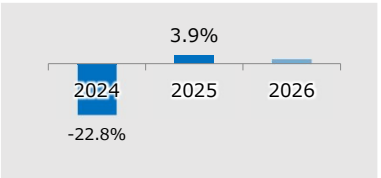
FY26実見
2.0%



ROE

FY26目標
8.0%
修正目標なし

FY26実見
未達



Copyright © YOROZU Corporation

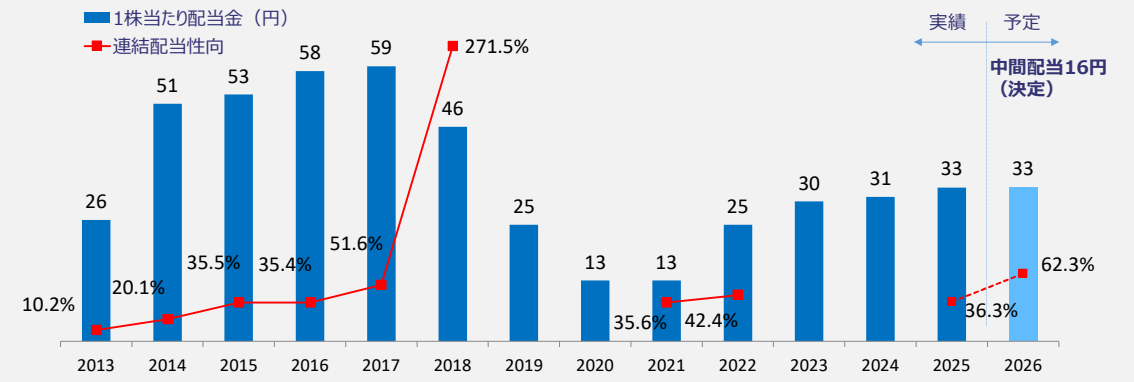
Ⅳ. 株主還元

Copyright © YOROZU Corporation

株主支援に報いる還元政策

- **配当方針**
  1株当たり配当31円を下限とし、配当性向35%以上を目指す

1株当たり配当金（円）



Copyright © YOROZU Corporation

Ⅴ．トピックス

Copyright © YOROZU Corporation

トピックス（YSP2026の進捗）

方針	方策	進捗トピックス
事業基盤の強化	①新技術･新工法の創出と拡販	･超ハイテン鋼板LINKの量産開始　様々な製品で大幅な軽量化 ･980MPa級 超ハイテン材活用推進に向けた協業 ･カタログコンセプトの適用による製品開発 ･多様なEVモビリティ用製品への参画
	②収益目標の達成	･合理化改善活動の進化：改善案件を早期に発掘･計画化する仕組みを追加 ･YOMC(大分工場) 生産能力増強の投資を決定 ･キャパシティーマネージメント：少量生産部品集約によるエリア創出
	③資本効率向上	･政策保有株式の縮減は、目標達成の見込み
経営基盤の強化	④E（環境対応力の向上）	･全員参加型の省エネ提案活動による、脱炭素社会への貢献
	⑤S（エンゲージメントの向上）	･お取引先様への健康経営推進の支援を開始 ･かながわ治療と仕事の両立推進企業の「プラチナ」認定を取得
	⑥G（ガバナンスの向上）	･「経営の透明性」と「対話」を通じた企業価値向上を高める取り組みを推進
	その他（社会貢献）	･自動車部品の思想を取り入れた、クマ･イノシシ等の捕獲用箱わなを開発

Copyright © YOROZU Corporation

トピックス：① 新技術･新工法の創出と拡販

超ハイテン鋼板LINKの量産開始　様々な製品で大幅な軽量化

量産採用

日産 エルグランド サスペンション部品全般を受注
軽量化に貢献する 一体成型 超ハイテン780MPa級　鋼板LINK
（従来比23%軽量化）を新規採用

特許技術 Patents Tech.





他社を凌駕する軽量化技術で、脱炭素社会の実現に貢献

Copyright © YOROZU Corporation

トピックス：① 新技術･新工法の創出と拡販

980MPa級 超ハイテン材活用推進に向けた協業

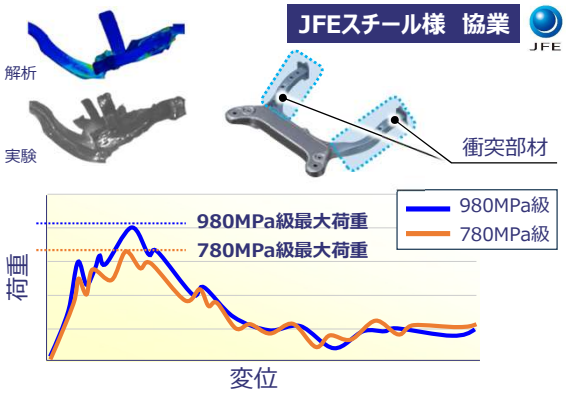
JFEスチール様　協業



同等　　大幅低減

アルミニウム製品と同等性能の鉄製品開発

JFEスチール様　協業



980MPa材使用により衝突部品についても軽量化ポテンシャルを確認

Copyright © YOROZU Corporation

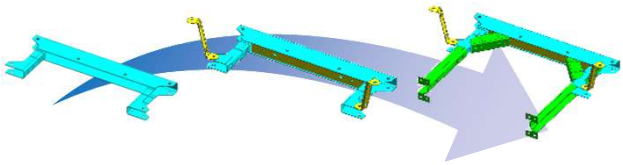
トピックス：① 新技術・新工法の創出と拡販

カタログコンセプトの適用による製品開発

Shorten time ! **リードタイム**　固定部位を設定することによる **開発リードタイムの短縮**

Low Cost ! **コスト**　最小部品構成、簡素形状による **製品コストの低減**

Adjustable ! **部品機能**　**アジャスタブルな部品機能**



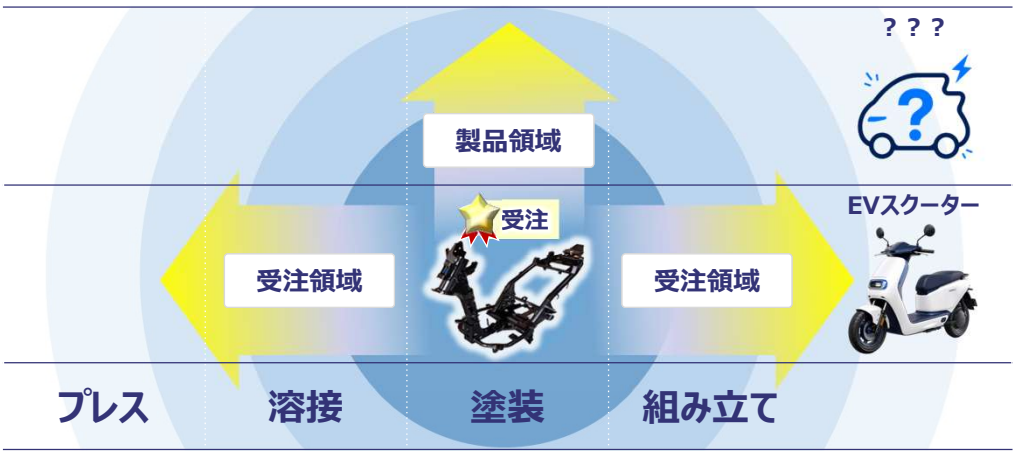


標準品提案による部品供給方式で、開発期間短縮に貢献

Copyright © YOROZU Corporation

トピックス：① 新技術・新工法の創出と拡販

多様なEVモビリティ用製品への参画



EVスクーター用フレーム塗装受注からの 更なる事業展開

Copyright © YOROZU Corporation

トピックス：② 収益目標の達成

合理化改善活動の進化：改善案件を早期に発掘･計画化する仕組みを追加

施策

既存

GKBK整備(FY25)
「実施済案件」の登録件数：**1,500件**
2025年7月運用開始

＋

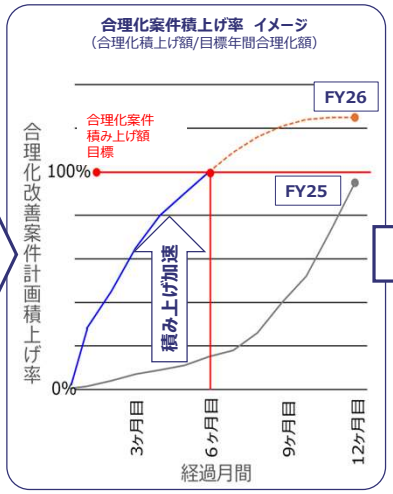
追加

①GKBK-Seeds整備
登録件数：**2,800件**
「改善実施前の案件」を登録･共有
2026年4月運用開始

追加

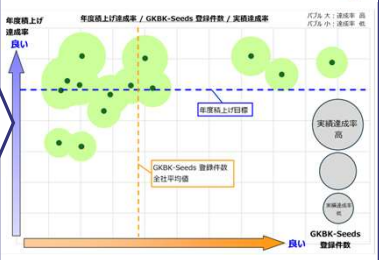
②1日改善活動実施
発掘件数：**6,000件**
丸一日改善案抽出に集中
2026年4月～6月　実施

案件積上げ早期化



成果

案件積上げ率　100%以上 完
改善実施率（対年度目標）　上期で50% ✓



上期の取り組みが
成果に直結

Copyright © YOROZU Corporation

トピックス：② 収益目標の達成

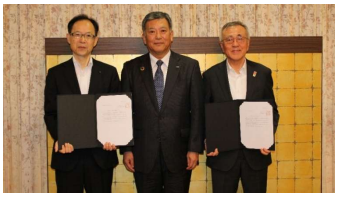
YOMC(大分工場) 生産能力増強の投資を決定

● **概要**

項目	内容
投資額	約30億円
投資内容	工場建屋建設 (約3,000㎡) 大型プレス機導入　(2,000t)
稼働予定	2028年10月(予定)

● **投資意義**

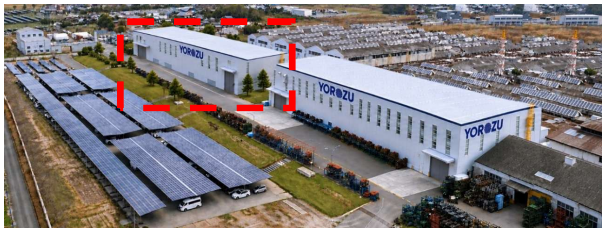
✓ 成長市場への供給能力拡大
✓ 九州地区の生産体制強化
✓ 中長期的な需要増加への対応



増設表明式(9/18 大分県庁)



導入予定 プレス機(類似)

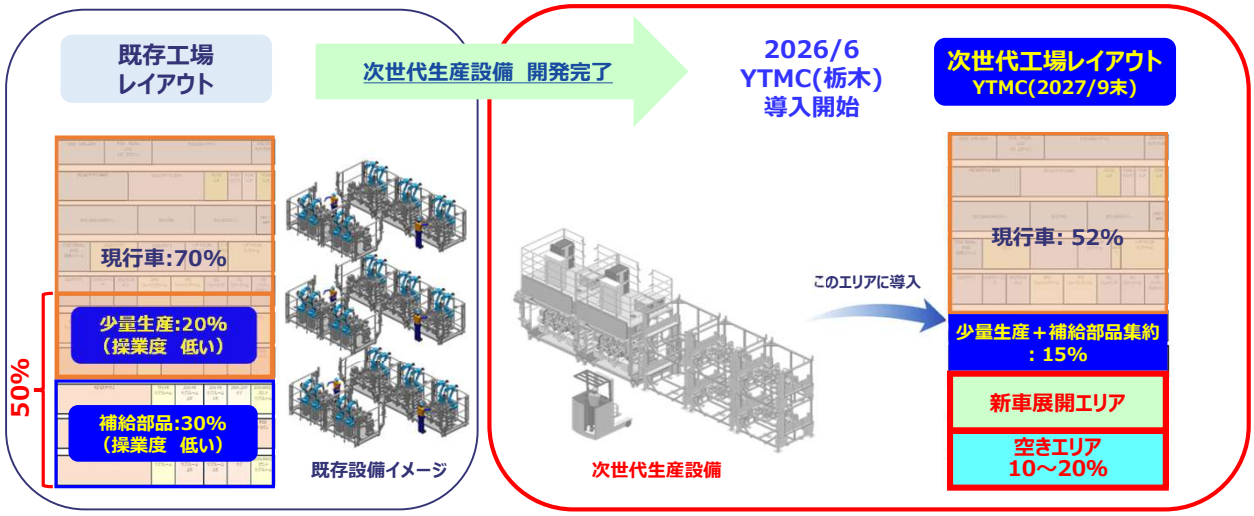


新建屋 完成イメージ

Copyright © YOROZU Corporation

トピックス：② 収益目標の達成

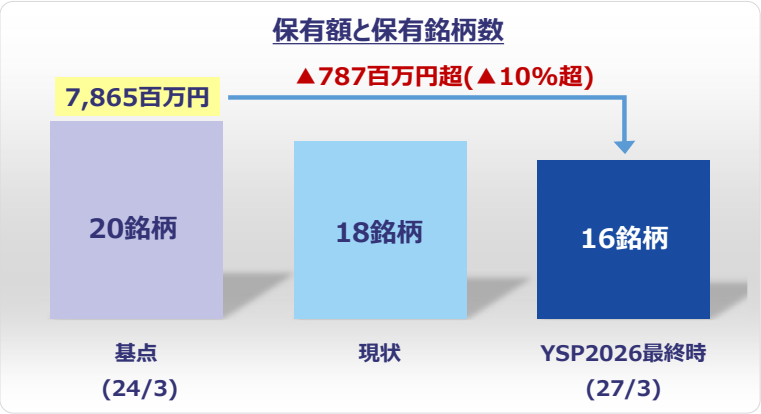
キャパシティーマネージメント: 少量生産部品集約によるエリア創出



Copyright © YOROZU Corporation

トピックス：③ 資本効率向上

YSP2026での政策保有株式の縮減は、目標達成の見込み



今後の基本方針

- ■保有意義の厳格な検証
- ■さらなる縮減の推進

資本効率の更なる向上、コーポレートガバナンス・コードへの対応に向け
継続的な売却により、縮減を図る

Copyright © YOROZU Corporation

トピックス：④ E（環境対応力の向上）

全員参加型の省エネ提案活動による、脱炭素社会への貢献



2026省エネ提案 イベント概要

提案総件数	5,226件	グローバル全従業員をカバーする高い参加率と積極的な改善提案
CO2削減量	1,272 ton-CO2	
効果予測額	47,779千円	(設備投資額は含まない)



Copyright © YOROZU Corporation

トピックス：⑤ S（エンゲージメントの向上）

健康経営の推進

お取引先様への支援を開始

2026 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門

ヨロズ
6年連続取得

健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 中小規模法人部門 ブライト500

ヨロズサービス
初取得

健康経営優良法人認定サポート パートナーシップ構築宣言

心身ともに健康な状態で仕事ができるように
健康経営の推進をサポートします

DE＆Iの実践

治療と仕事の両立を推進

「かながわ治療と仕事の両立推進企業」
「プラチナ」✨認定を取得

<取得条件>

1. 年次有給休暇（時間・半日）の整備
2. 傷病・病気休暇の整備
3. 柔軟な働き方の整備

KANAGAWA ★★★ 治療と仕事の両立推進企業



誰もが自分らしく働き続けられる職場環境づくりを推進

Copyright © YOROZU Corporation

トピックス：⑥ G (ガバナンスの向上)

「経営の透明性」と「対話」を通じた企業価値向上を高める取り組みを推進

第三者視点による取締役会評価の実施

アンケートやインタビュー結果をもとに実効性の検証・議論を実施
今後も取り入れ、透明性・客観性と議論の質を向上

26年7月21日
「取締役会実効性評価結果の概要」公表

工場見学会の開催

株主様・アナリスト様向けに、
新工場（サステナブルマニュファクチャリングセンター）の
見学会を計画中

27年3月25日
開催予定

次期中期経営計画策定への参画

社内・外の取締役に加え、
中核を担う役員層が、
幅広い視点から、
率直かつ徹底した議論を実施

26年 6月 第１回検討会 実施済
26年12月 第２回検討会 実施予定

全てのステークホルダーから選ばれる会社を目指す

Copyright © YOROZU Corporation

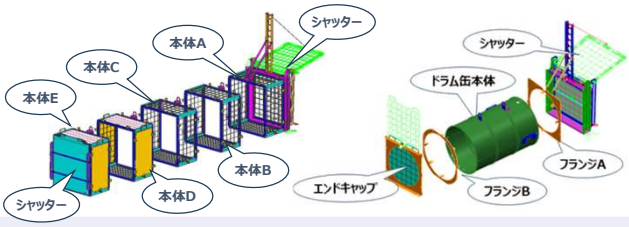
トピックス：その他　社会貢献活動

自動車部品の思想を取り入れた、クマ・イノシシ等の捕獲用箱わなを開発

Fail Safe ! **安全**　各ユニットの強固なフレームにより **獲物を安全に確保**

Long Life! **メンテナンス**　交換可能なユニット構造により **容易な補修、洗浄が可能**

Adjustable ! **部品機能**　用途に合わせ **組み合わせを調整可能**





岐阜県知事との面談
(9/8 岐阜県庁)


緊急猟銃訓練での箱わな説明
(10/28 岐阜県中津川市)



箱わな寄贈式
(11/12 岐阜県輪之内町:1台 寄贈)


設置事例
(複数のクマ捕獲実績あり)

Copyright © YOROZU Corporation

～全てのステークホルダーから「選ばれる会社」へ～

Copyright © YOROZU Corporation

免責事項と著作権

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さいますようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようにお願い致します。

●お問合せ
責任者： ㈱ヨロズ 常務執行役員 矢後 敏之
担 当 ： ㈱ヨロズ 経理部 主担 劉 雪輝

ＴＥＬ 045-543-6802

Copyright © YOROZU Corporation



Copyright © YOROZU Corporation